

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科／電気通信工学科						
科目名	初等物理学						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	2・3年前期		
必修・選択の別	選択科目(コースA群)／自由科目(コースB群)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動方程式を理解し、一次元運動(等加速度運動、単振動)を解く。</li> <li>・運動方程式から力学的エネルギー保存則を導く。</li> <li>・球座標を用いて、天体の運動を解く。</li> <li>・天体の運動からその質量に関する情報を得る。</li> <li>・電磁場の基礎方程式を理解する。</li> </ul>						
日程と内容	4/ 8 導入, 成績評価の方法, 物理学とは 4/15 関数とその導関数, 位置・速度・加速度 4/22 力と運動方程式 4/29 単振動 5/13 定積分 5/20 スカラー積, エネルギー保存則 5/27 ベクトル積, 角運動量保存則 6/ 3 万有引力, 惑星の運動に関するケプラーの法則, 楕円の幾何学 6/10 衛星の運動と惑星の質量 6/17 電磁気学とは, 電場と電位 6/24 電流と磁場 7/ 1 ローレンツ力 7/ 8 電磁誘導 7/15 総合復習 7/22 定期試験 7/29 試験の講評						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	40%	計	100%			
授業到達目標の達成度	講義を通して当初の目標に到達することができた。						
反省点	受講者が少なかったので学生の反応を見ながら講義を進めることができたが、それによりかえって説明内容に偏りが生じ、時間配分に苦勞をした。予習すべき項目をより明確にしておくべきであった。						
来年度の計画	基本的に今年度と同じ内容で実施する。ただし、配布する講義ノートは演習問題を増やすことで改良を加える。						
授業評価アンケートに対するコメント	受講者数が僅少で個々の評点にはコメントできない。						
履修登録者数	5名	定期試験 受験者数	3名	合格者数	3名	合格率	100%